



南舞岡小だより

学校教育目標「人・まち・自然に進んでかわり、自ら学びを深め、

共に生きる素晴らしさを感じ合うことができる子を育てます」

学校所在地 〒244-0814 横浜市戸塚区南舞岡4-15-1 (Tel.823-4120,4130)

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/minamimaioka/>



日常の授業風景

学校長 地主 佐和子

暑さを感じる日が増えてまいりました。休み時間や体育のあとは、子どもたちの額に汗がはっきりと確認できます。毎日 WGBT の数値を計測し、保健室の掲示板には熱中症に関する掲示物も整え、子どもたちへの指導や注意喚起を続けております。

校長の私にとって日々の授業を見に行くことは、仕事であり楽しみでもあります。以前は、子どもたちや授業者の様子から多くの発見があることが喜びでありましたが、最近はまだ1つ、ついつい廊下からではなく教室に入り込んで子どもたちと一緒にその活動を「体験」する喜びが増えました。それは、1人1台のタブレットを操作している授業にあります。そのいくつかをここで紹介したいと思います。

理科。1人1つの植物、ハウセンカまたはマリーゴールドの芽を観察しています。机には自分の植物があり、自分用のタブレットがあるので、写真を撮ることになったようです。カメラを起動させ、被写体を中心にして写真を撮るという学習に発展していました。理科とは直接関係ないようにも思えますが、カメラ機能を使う練習とともに被写体（この時間でいうと植物）をじっくり見つめていることで、葉のつくりに集中して観察している子どもたちの姿がありました。

国語。古典の文章を音読しています。自分用のタブレットには古典の文章全体が映し出されています。タブレットを持ち、画面を見ながら読む練習をしているのかなと思って見ていたら、読み終わった子どものタブレットから音が出始めました。自分の声を録音することで、読みの速さや間の取り方などを振り返り始めたのです。全員が持っていることで時間のロスがありません。

算数。倍を表す数が基準量×倍で求められることを数直線を用いて説明するという時間。子どもたちのノートには数直線を使って式を立て計算して出された答えが書かれています。その数直線を示しながら解き方をペアの友達に伝えます。担任から「3回目は〇〇という言葉を使って説明できるか挑戦しましょう。」と声がかかると、その言葉の意味を考えて適切な場所に当てはめて一生懸命説明し合っています。そして最後に、タブレットを開き、慣れた手つきで自分の考えを書いたノートを写真で撮り、録音機能を使って口頭で説明したものを端末上で担任に提出しました。

このような授業風景は、日々校内を1周する中で当たり前になっています。自分が担任をしていた頃には予想もしなかった光景が目の前に広がっています。先週の授業参観でも学級によってはその様子を保護者の皆様に公開しました。子どもたちの発達段階や、授業で活用する目的や意図がありますので、主に上の学年の利用頻度が高いという現状について、どうかご理解いただけたらと思います。新学習指導要領にもありますように、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の資質・能力を育成するために、今後も授業内容の検討、工夫を重ねてまいります。